



## スクールワイドPBSの導入に関する実践報告

株式会社LITALICO  
LITALICO研究所 所長 野口 晃 菜 氏

ポジティブ行動支援（PBS：Positive Behavior Support）とは、当事者がQOL（生活の質）の向上のために行動できるよう、周囲が肯定的な方法で支援するための枠組みです。具体的には、子どもの問題行動ではなくできる行動に着目をし、ポジティブな関わりを中心とし、できない行動については、その行動ができるように事前に工夫をします。このPBSに学校単位で取り組むのが「スクールワイドPBS」です。本年度、戸田市立喜沢小学校においてスクールワイドPBSの導入をサポートしました。

まず、学校全体でお互いに気持ちよく過ごすための「3つの大切」を決め、その後3つの大切に基づき、場面ごとの具体的な行動を決めました。その上で、毎月「キャンペーン」として一つの行動を決め、その行動が全員ができるような工夫を学校全体で取り組みました。結果、これらの行動が増加し、先生方についても、ポジティブな関わりが増えました。先生方からは「子どものできるところに目を向けることができた」「こんなにポジティブな関わりをしたのは教員生活で初めて」などの感想がありました。トップダウンでルールを決めるのではなく、大切にしたい行動を子ども・教師全員で決めること、その行動をとるための工夫を全員が共通で行うことが、多様な子どもが過ごしやすいインクルーシブな学校づくりにつながると改めて実感した実践でした。

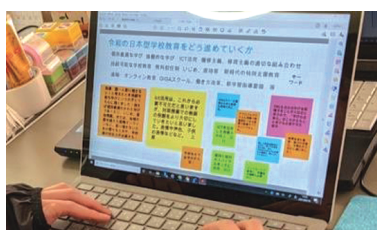
## 2021 TODA Education Weeks

令和3年度は、小学校に引き続き、中学校でも新学習指導要領が全面実施となる。これまでの教科指導の充実に加え、社会に開かれた教育課程の充実や教科等横断的な学びの推進がより求められている。

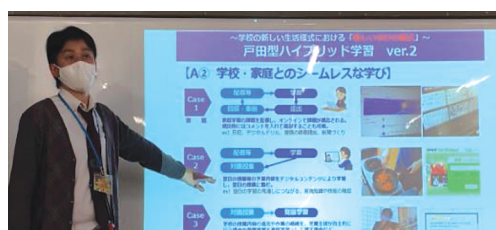
TODA Education Weeksは、令和3年度を迎えるにあたり、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）を深く読み込んだり、戸田市立教育センター教科等研究グループの研究成果や有識者による作成動画を視聴したりして教職員及び学校間で共有することで、新学習指導要領の趣旨やこれからの時代の教育について、より一層理解を深める期間として設定した。



戸ヶ崎教育長による答申伝達講義



Jamboard を使用してのディスカッション



学校における伝達研修

### 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

Education Weeks内では、各学校の特色を生かした独自の取組も多数行われました。

- ・オンライン授業参観及び懇談会
- ・倫理確立委員会
- ・ICT活用研修会
- ・授業研究会 等

#### 【有識者作成動画視聴】

- ①ICTをマストアイテム化した学び
- ②実社会と教室をつなぐ学び
- ③これからの学習評価の在り方
- ④学校の働き方改革
- ⑤多様なニーズに応じた教育